10　家庭

学校番号	321

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	子どもの発達と保育「育つ・育てる・育ち合う」（教育図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇保育に関心をもち、積極的に取り組みましょう

・子どもの成長・発達について詳しく学び、自分たちの子どもの頃はどのようなものだったかや、これから親になることもふまえて実生活に即した学習を行います。

・保育の職業に就きたいと考える生徒も多く、保育の現場を知り、より具体的なイメージを持てることの出来るような実習・体験を行っていきます。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力を育てる。乳幼児期の環境・発達の重要性、個人差を理解させる。座学のみではなく、実習・実践学習をもち、保育に関する知識・技術の定着をはかる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	保育について関心をもち、子育て支援に寄与する能力の向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	保育環境の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	保育に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	子どもの発達・子育ての環境・子育ての知識に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価　等	学習状況の観察 プリントの記述 製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントの記述 製作品 レポート、発表 定期考査 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントの記述 製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	子どもの発達の特性	○生涯発達における乳幼児期の重要性 ○発達と環境 ○発達観・児童観とは ＊沐浴	○ ○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:子どもの発達と特性について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの権利に関する歴史を理解し、現代の社会環境についての課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:乳幼児の発達を通して、日常の世話をおこなう技術を身に付けている。 d:子どもの発達・環境からの影響・子どもに関する社会福祉制度の知識など身に付けている。	授業観察 プリント 定期考査 レポート
5月・6月7月・	子どもの発達過程	○身体発育と運動機能の発達 ○乳幼児期の体の発育 ○乳幼児期の発達の特徴 ○人間関係の発達 ○心の発達 ＊壁面製作 ＊保育園見学 ＊保育園体験実習	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:乳幼児期の発育・愛情関係の形成過程・言語・知能の発達について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b：子どもの身体的・心理的な発達を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:子どもの身体的・心理的発達を理解することにより子どもと適切に関わる態度・技術を身に付けている。 d: 乳幼児期の発育・愛情関係の形成過程・言語・知能の発達をより詳しく理解するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント 定期考査 製作計画 製作品 実習記録 自己評価 相互評価
8月・9月10月	子どもの生活	○子どもの健康と生活 ○子どもの食事 ＊レトルト離乳食　試食実習 ＊調理実習 《離乳食》 ○子どもの衣服 ○子どもの遊びと生活 ○子どもの健康管理 ＊ペープサート 《企画・作成・発表》	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	 ○ 	○ ○ ○ ○ 	a:子どもの生活全般に関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの生活環境・しつけ・基本的生活習慣などについて、課題を見いだし、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。 C 子育てに必要となる日常的な生活技術を身につける。 d:子どもの衣生活・食生活・遊び・健康管理など実生活に結びつく重要な事柄を理解し、健康で快適な衣生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	授業観察 プリント レポート 製作計画 製作品 発表 実習記録 自己評価 相互評価 定期考査

11月・12月	子どもの保育	○保育の意義と目標 ○保育の方法 ○保育の環境 ＊絵本の読み聞かせ実習	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:子どもの保育ついて関心を持ち、実践的・体験的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもにとって良い保育とはどのようなものか考え、その考え・方法を表現している。 c:学習した保育を実生活に生かすことができる実践的な技術を身につける。 d:保育の意義・方法を生かすために必要な発達の特徴・生活環境などの家庭保育・集団保育の知識を身に付けている。	授業観察 プリント 発表 レポート 自己評価 相互評価 定期考査
1月・2月	子どもの福祉と子育て支援	○子どもの福祉 ○子育て支援 ＊子どものお弁当作り 《実習計画・調理実習》	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:子どもの福祉について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。 b:子どもの福祉に関する歴史・現代の課題を見出し、その解決を目指して考え、表現している。 c:子どもの生活・福祉に関する実践的な学習をすることが出来る。 d:児童福祉に関する知識を身に付けている。	プリント ﾚﾎﾟｰﾄ 発表 実習記録 自己評価 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　＊は、実習・実験など実践的・体験的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。